

## 今後の取組みにあたって：知事コメント

## 総評

- ・コロナ禍が長期化することで子どもたちの学びの保障や心身の健康への影響が懸念されることから、**対面授業とオンライン学習を組み合わせた学習内容の充実**を図るとともに、**児童等の不安やストレスなどへのきめ細かい心のケア**を通じて子どもたちの健やかな成長につなげていく。
- ・多様な生徒のニーズや障がいのある生徒等の増加に対応するため、**新たなタイプの高等学校（多様な教育実践校）の整備**や**支援学校の教室不足の解消**などに取り組むことにより、すべての子どもの学びと育ちを支える「**ともに学び、ともに育つ**」教育を充実させていく。
- ・**ヤングケアラー**については、「**見つける**」「**つなぐ**」「**支える**」の3つの視点から**支援体制を構築**し、**学校と地域の連携**によるきめ細かな支援に繋げるとともに、**教員の働き方改革を積極的に進め、教員の負担軽減**を図っていく。

## ＜学力＞

- ・令和3年度に、高校としては全国に先駆け、**府立高校生全員に1人1台端末を配備**した。同端末を活用し、コロナ禍におけるより充実したオンライン学習の実現や個別最適な学び、協働的な学びの充実につなげている。今後、グローバル化や国際化の進展を踏まえ、国際社会の一員としてのコミュニケーションツールである**英語の習得**や、Society5.0時代の到来を見据え、**1人1台端末等を効果的に活用し、ICTリテラシーの向上**を図っていく。
- ・国の「GIGAスクール構想」に基づき令和2年度末に府内小中学校に配備された1人1台端末について、**小学校の約9割、中学校の約8割が週3回以上ICTを活用した授業等を行う**など、配備された端末を活用した学習環境が整いつつある。今後は、**教員のICT活用指導力の向上**などに取組み、**ICTを活用した教育内容の充実**を図っていく。また、**すくすくウォッチやチャレンジテスト**を活用し、小中学生一人ひとりの課題を改善し、**府域全体のさらなる学力の向上**につなげていく。

## ＜心のケア＞

- ・コロナ禍が長期化することで、いじめや不登校等に関する相談件数が増加しており、引き続き、**SNSを活用した相談や小中高校にスクールカウンセラーを配置・派遣**するなど、市町村等とも連携しながら、**コロナ禍への不安やストレスなどに対する児童や保護者の心のケア**にきめ細かく取り組んでいく。

## ＜支援教育＞

- ・医療的ケア児が安全安心に学ぶことができる教育環境を充実していくため、令和2年度から本格実施している**医療的ケア児通学支援事業等**に取り組んでいる。引き続き、府立学校における環境整備を進めるとともに、教育環境の充実に取り組む市町村をサポートしていく。
- ・中学校等で支援学級に在籍していた生徒の府立高校に進学する割合が年々増加していることを踏まえ、多様な生徒が安全安心な環境のもとで意欲的に学ぶことができる**新たなタイプの高等学校（多様な教育実践校）**を設置していく。また、**支援学校における教室不足の解消**に向けて**整備・拡充**を計画的に進めていく。

## ＜ヤングケアラー＞

- ・小中高校に**スクールソーシャルワーカー等専門人材**を配置し、ヤングケアラーの早期発見、適切な支援につなげる**相談支援体制**を構築している。ヤングケアラーの**社会的認知度を向上**させる取組みを進めるとともに、**きめ細かな学習支援や進路・就職相談対応**、さらには**地域における支援体制の整備**に向けて**教育と福祉が連携**して取り組んでいく。

## ＜教員の負担軽減＞

- ・教員の時間外在校時間数は年々減少しているものの、依然として**教員の長時間勤務が課題**となっている。その要因の一つである部活動について、合同部活動のさらなる拡充や外部人材の効果的な活用等により**教員の負担を軽減**するなどの**働き方改革**を積極的に進め、**教員が教育活動に専念できる環境**を整えていく。